愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	保育実践演習		
担当者(Instructors)	堀 建治	配当年次(Dividend year)	4
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

これまでの学外実習等を踏まえ、自身の学びを振り返りながら、保育専門職として必要な保育に関する専門的知識や技術に加え、幅広い教養、さらに総合的な判断力、専門職としての倫理観等の定着をめざす。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	グループ討論、ロールプレイング等を含め、これまでの自らの学びを保育実習等における体験と結びつけながら振り返りと考察を行う。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ガイダンス、これまでの振り返り	授業の進め方の確認とこれまでの実習での様子を振り返りながら、自分自身の課題を確認する	□
第2回	保育士としての意義・役割	保育士としての意義・役割について、グループディスカッションを通して理解を深める	□
第3回	保育士としての倫理	保育士としての倫理について、グループディスカッションを通して理解を深める	□
第4回	子どもに対する責任	子どもに対する責任について、グループディスカッションを通して理解を深める	□
第5回	保育士としての対人関係能力	保育士としての対人関係能力について、グループディスカッションを通して理解を深める	□
第6回	家庭への支援や連携	家庭への支援や連携について、グループディスカッションを通して理解を深める	□
第7回	子育て家庭への支援	子育て家庭への支援について、グループディスカッションを通して理解を深める	□
第8回	保育に関する現代的課題への探究①（「気になる子ども」へのかかわり）	保育に関する現代的課題（「気になる子どもへのかかわり」）についてグループディスカッションを通して探究、分析し、理解を深める	□
第9回	保育に関する現代的課題への探究②（「保護者とのかかわり」）	保育に関する現代的課題（「保護者とのかかわり」）についてグループディスカッションを通して探究、分析し、理解を深める	□
第10回	保育に関する現代的課題への探究③（「保育施策」）	保育に関する現代的課題（「保育施策」）についてグループディスカッションを通して探究、分析し、理解を深める	□
第11回	保育に関する現代的課題への探究④（「保育士の処遇改善」）	保育に関する現代的課題（「保育士の処遇改善」）についてグループディスカッションを通して探究、分析し、理解を深める	□
第12回	保育に関する現代的課題への探究⑤（「保育の質向上」）	保育に関する現代的課題（「保育の質向上」）についてグループディスカッションを通して探究、分析し、理解を深める	□
第13回	模擬保育①（素話）	模擬保育（素話）を通じて、自身の保育技術を把握し、保育士として必要な能力を身に付ける	□
第14回	模擬保育②（素話）	模擬保育（素話）を通じて、自身の保育技術を把握し、保育士として必要な能力を身に付ける	□
第15回	まとめ	これまでの学びを振り返るとともに、保育士としての専門性や倫理観を確認する。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前学習は、グループディスカッションや模擬保育に向けての準備、保育教材の作成、授業内容の確認をする（２時間程度）。事後学習は模

擬保育での振り返りや教材研究、不足分について関連文献を読み込み、成果の定着を図る（２時間程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

指導案作成や各種課題については授業時間内に適宜、返却する。 授業時間外の場合はオフィスアワー、もしくは教員が研究室に在籍し、対応できる場合は随時対応する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019子ども発達DP1	保育士になるための必修の知識と基礎的・実践的な技能を身に付けている。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019子ども発達DP2	保育士として正面から向き合うことのできる力強い思考力、判断力をもっている。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			20%	80%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

「授業内試験」：模擬保育を実技試験として位置づけ、専門職として必要となる技術について確認する(20%)。
「その他」：各種課題提出、実技試験等について期限、内容等を総合的に評価する(80%)。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	保育所保育指針解説	978-4577814482
2	必要に応じてプリント・資料	
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		